

図書ボランティア活動と子供の図書室利用の様子

月曜日から金曜日の朝7時半から、保護者の図書ボランティアさんが毎日図書室の開放をお手伝いしてくださっています。子供たちが快適に過ごせるよう、カーテンを開け、空調を入れてお出迎えしてくれます。

「恐竜の本はどこですか?」「怖い話の本はどこですか?」「教科書に出てきた本はどこですか?」と、子供たちが質問をすると、「ここにあるよ」とすぐに探して案内してくれていました。

本の配置などは、だいたい覚えられているそうです。

朝の支度が終わると、図書委員の6年生もお仕事に来てくれます。本の貸し出し、返却を手際よく行っていました。



図書室の入口右手の本棚には、新作の本が紹介されています。

ここはいつも子供に大人気だそうです。

貸し出しカウンターには、図書館補助員さんがオススの季節の本を展示してくれていました。

棚の高さも子供たちの目線に合わせて低く作られていて、手が届きやすいように考えられています。絵本コーナーの一角では、上靴を脱いでくつろぎながら本を読んでいる子もいました。

図書室は子供たちの憩いの場になっていて、とても素敵な空間でした。



(文化広報委員会)

